

## エシカルな鉱物・金属調達に関する公開質問状 2017 及び回答票

質問 1. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための管理システムについて伺います。

質問 1-1. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための方針を策定していますか。また、策定していない場合、今後策定する予定はありますか。

A. 鉱物・金属の調達方針を策定している

(名称・公開場所： ) 例；URL

B. 鉱物・金属に特化した調達方針はないが、全般の調達方針でカバーしている

(名称・公開場所：CSR 推進がトライル [http://www.furukawa.co.jp/procure/pdf/csr\\_guideline.pdf](http://www.furukawa.co.jp/procure/pdf/csr_guideline.pdf))

C. 現在は全般の調達方針のみだが、鉱物・金属調達に特化した方針の策定を検討している。

(策定予定時期： 年 月頃)

D. 鉱物・金属の調達方針を策定していない。

(その理由： )

質問 1-1-2. 質問 1-1 で A～C と答えた方に伺います (質問 1-1-4 まで)。策定もしくは検討されている方針についてお答えください。鉱物・金属の調達方針において、どのような環境・社会問題への配慮を定めていますか (複数回答可)

A. 土壌や水系・大気の汚染を引き起こしていないか

B. 野生生物や生物多様性への悪影響を及ぼしていないか

C. 先住民・居住者の生活や土地・文化を侵害していないか

D. 児童労働や、劣悪な環境・条件での労働を行っていないか

E. 武装勢力の資金源となる等、紛争に関連していないか

F. その他 ( )

G. 対象とする環境・社会問題は特定していない

質問 1-1-3. 対象鉱物を定めていますか (複数回答可)

A. 金  B. スズ  C. タンタル  D. タングステン  E. アルミニウム  F. 鉄  G. コバルト

H. ニッケル  I. 銅  J. 亜鉛  K. 銀  L. カドミウム  M. 白金属  N. 水銀  O. 鉛

P. その他 ( )

Q. 特に定めてはいない

質問 1-1-4. 複数の鉱物に対する方針をお持ちの方に伺います。

鉱物ごとに異なる方針を定められていますか

A. すべての鉱物に共通の方針を定めている

B. 一部の鉱物にのみ適用される方針がある

具体的に ( )

質問 1-2. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための内部管理体制を構築していますか。

A. 社内の管理体制を構築している

B.常設の管理体制はない

C.その他 ( )

管理体制がある方

情報集約の仕組み、事務局、検討の場、責任者等についてご説明ください。(図があればそちらを用いて) 対応方針を記載した「CSR推進ガイドライン」をサプライヤーに配付し、対象4金属の使用有無を調査し、データベース化を実施し、社内情報共有を図る。

**質問 1-3.** 鉱物・金属調達におけるリスクの特定および評価を行っていますか。

A.リスクの特定及び評価のプロセスを開発し、サプライチェーン上のリスク特定の取組みを行っている

B.リスクの特定および評価は特に行っていない

C.その他 ( )

**質問 1-4.** 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための方針をどのような形でサプライチェーン上で徹底していますか。

A.一次取引先への通達事項として依頼

B.サプライヤーとの取引基本契約書に、調達方針の内容を組み入れている

C.サプライヤーと合意書を交わしている

D.特に文書化は行っていない

E.その他 ( )

**質問 1-4-1.** 質問 1-4 で D 以外を選択された方に伺います。上記に含まれる内容についてお答えください。(複数選択可)

A.サプライヤーによる調達方針遵守を求める

B.サプライヤーが、二次以下のサプライヤーに対して調達方針を遵守するように影響力の程度に応じて適切な措置をとることを求める

C.サプライヤー自身による自社の調達方針策定や調査の実施を求める

D.サプライヤーの調達方針遵守状況に関する活動を自社に報告することを求める

E.その他 ( )

**質問 1-5.** 苦情申し立ての仕組み

**質問 1-5-1.** 鉱物・金属調達における環境・社会配慮について、ステークホルダーからのフィードバックを得る仕組みを構築していますか。

A. 構築している

B. 構築していない

**質問 1-5-2.** 質問 1-5-1 で A と答えた方に伺います(質問 1-5-3 まで)。フィードバックを得る対象の□にチェックを入れ(複数回答可)、具体的仕組みをお書きください。

	対象	仕組み(オンラインフォーム等)	対応言語
A	<input checked="" type="checkbox"/> サプライヤー	パートナーズミーティングやアンケートなどで	和
B	<input checked="" type="checkbox"/> 顧客・製品使用者	EICC 調査票の開示に応じて	和

C	■従業員	社内監査の際の聞き取り	和
D	■NGO・NPO	アンケート回答	和
E	■鉱山・工場立地住民	商社・サプライヤーを介した情報交換	和
F	□その他（ ）		

質問 1-5-3. フィードバックを得た場合の対処の方法をお書きください。

年度ごとに評価結果を、CSR・リスクマネジメント委員会で役員等に報告し、適宜対処を検討

質問 2. リスクの特定および評価の内容について伺います。

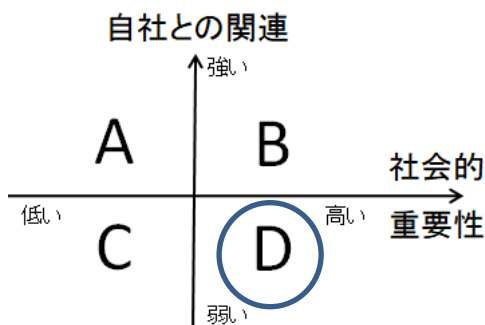
質問 1-3 で A. と答えた方にうかがいます。（質問 2 全体）

質問 2-1. リスク特定のための情報収集先として当てはまる項目の□にチェックを入れ（複数回答可）。情報収集方法をお書きください。

	情報収集先	情報収集方法
A	■サプライヤー	■サプライヤーへのアンケート送付（頻度：1回／年（ ）） □サプライヤーへの監査（頻度：（ ）） □その他（ （ ） ）
B	□顧客・製品使用者	
C	□従業員	
D	□NGO・NPO	
E	□鉱山・工場立地住民	
F	□メディア	
G	□その他（ ）	

質問 2-2. 評価の基準

A～D のうち、評価の結果対応すべきリスクと判断される象限を丸で囲んでください。また、社会的  
重要性が高いと判断するポイントをお書きください。



社会的  
重要性が高いと判断するポイント  
（例：テレビ報道、人命の危機 等）  
当社グループCSR行動規範で定めた項目  
（児童労働・強制労働の禁止、地球環境の保  
全など）に違反していないかどうか  
.

質問 2-3. リスク評価の頻度をご記入ください。（ 1回／年 ）



まずは、複数の情報源から状況を精査したうえで、実際に当該事象が認められた場合には、一次取引先に対して当該鉱山以外からの調達を指示する。

**質問 4.** 鉱物・金属調達における環境・社会問題への対応や結果等の公開・コミュニケーションについて伺います。

**質問 4-1.** 鉱物・金属調達における環境・社会問題への対応や結果を公開していますか。

- A. ウェブサイトで公開している
- B. ウェブサイトで公開していない

**質問 4-1-2.** 質問 4-1 で A. と答えた方に伺います。掲載項目の□にチェックを入れ URL を記載してください。

- A. 問題の背景・自社の問題意識
- B. 方針
- C. リスク評価手続き・内容 (質問 2 の内容)
- D. 評価結果 (質問 3-1, 3-2 の内容)
- E. 評価結果に対する対応・是正策 (質問 3-3 の内容)
- F. その他 ( )

掲載言語：和英

URL：http://www.furukawa.co.jp/procure/pdf/csr\_guideline.pdf

[http://www.furukawa.co.jp/en/procure/pdf/csr\\_guideline.pdf](http://www.furukawa.co.jp/en/procure/pdf/csr_guideline.pdf)

<http://www.furukawa.co.jp/csr/report/> http://www.furukawa.co.jp/en/csr/report/

**質問 4-2.** ウェブサイト公開に加え、追加的に行っているコミュニケーションがあれば選択およびそのコミュニケーション方法を記載してください。

		C. リスク評価 手続き・内容	D. 評価 結果	E. 対応・ 是正策	F. その他	方法
a	取引先(上流)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		調査、アンケート
b	顧客・製品使用者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		EICC 調査票の開示
c	従業員	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		EICC 調査票の開示
d	NGO・NPO	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		アンケート
e	鉱山・工場立地住民	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
f	その他( )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

**質問 5.** 他社・団体との協力について伺います。

**質問 5-1.** 責任ある鉱物・金属調達を行うために、自社単独の活動(自社のサプライチェーンにおける活動を含む)以外に御社ではどのような活動を行っていますか？(複数選択可)

- A. 国際的な取決めについてロビーイングを行う
- B. 国際的なネットワーク等で協力して取組む(参加しているネットワーク等： )
- C. 同業他社と問題を共有する場を持ち、業界を上げて取組む(参加している取組み： JEITA )
- D. NGO・NPO や消費者団体と協力して取組む(協力している団体名： )
- E. 採掘に伴う問題の認知度を上げる(取組内容： )
- F. 自社単独の活動以外には行っていない
- G. その他 ( )

**質問 5-2.** 鉱物資源・金属調達に関して、NGO との対話に関心はございますか。

- A. 関心がある  
 B. 関心はない

(本回答は公開しません)

**質問 5-3.** 質問 5-2 で A と答えた方にお伺いします。NGO との対話などにどのようなことを期待しますか。

NGOとしての活動状況

**質問 6.** 以下の 3 つの法・規則等の対象にあたるかどうかをお伺いします。

当てはまるにチェックを入れてください。

	対象企業 である	対象企業ではないが、取引先 から調査を受けているもしくは 調査を求められている	対象企業ではなく、関連した調 査や活動を求められたことはな い	把握して いない
米国ドッド・フランク 法紛争鉱物条項	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
EU 紛争鉱物資源に 関する規則案	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
英国 現代奴隷法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご回答者について

鉱物・金属に関するサプライチェーン上で貴社がどの部分にあたるかお答えください。(複数選択可)

- A. 鉱山操業  B. 精錬  F. 商社・卸売  C. 一次加工(地金等)  D. 二次加工(部品等)  
 E. 最終製品製造  G. 最終製品販売  H. その他( )